

## 令和4年度第3回区政会議(全体会議)で出された主なご意見と区役所の対応・考え方

番号	意見	当日の回答	区役所の対応・考え方	担当課
全体会議				
1	<p>昨年の天保山まつりで護衛艦が入港した際、船着場、バースの数が多く自衛艦の着岸が容易になり、災害時に自衛隊の出動が早くなることを聞いた。バースが充実していくと、防災の強化として「未来と世界にひらくまち・港区」の形が実現しやすくなるのではないかと。このようなことを「まちづくりビジョン」の実施プランとして区政に反映していただきたい。</p>	<p>船着場が多いほど防災の強化になるということであれば、大阪港湾局と連携して、できることであれば取り入れた方がいいと思います。</p> <p>物流の港であると同時に、天保山岸壁ではクルーズ船など世界中からのお客様を受け入れる港として、他港も視察したうえで、どのような港にしていきたいのか、大阪港湾局とも連携しながら考えていきたいです。</p> <p>また、災害時に強いフロート式の岸壁がUSJのところにありますので、その活用について確認し、港区でも活用できるようにしていきたいです。</p>	同左	協働まちづくり推進課 (安全・安心)
2	<p>まちづくり政策の中で、包括連携協定の定義について教えていただきたい。</p>	<p>まちの様々な課題を行政の力だけで解決することは財政的にも厳しい状況となっており、公民連携協定を締結することで、行政課題を民間のノウハウを活用しながら、港区だけでは解決できないまちづくりを公民連携により実現しているのではないかと考えています。</p>	同左	総務課 (総合政策・公民地域連携)
3	<p>プロポーザルで決定していない事業法人との包括連携協定については、何を以てそのような手法をとっているのかという説明が必要かと思うがどう考えているのか。</p>	<p>連携協定を締結したい企業等を広く募集する仕組みを作るとともに、公民連携事業審査委員会で特定の企業の営利活動だけを支援しないよう審査を行い、公民連携協定を締結していきたいと考えています。</p>	同左	総務課 (総合政策・公民地域連携)
4	<p>築港の人口が急速に減っている。エリア別活性化の取組の方向性として出していることはいいことだが、イノベーションで一気に変わることは全国の事例を見ても少ない。</p> <p>コスプレという社会実験にしても、これが地域活性化にどうつながっていくのか、ビジョンにどう反映していくのかご意見を伺いたい。</p>	<p>築港・天保山まちづくり計画の策定から5年が経過し、今の時代に合わせたまちづくり計画の見直しも必要ではないかと考えています。まずは、地域の皆様方が築港をどういう町にしたいかというご意見をしっかり聞かせていただき、埋立事業も含め、エリアの未来像を住民とも共有しながら、ビジョンとして形にするような取組を進めていきたいと考えています。</p> <p>(区長より)今年度、全国でコスプレイベント等を行っている港区に本社のあるハコスタという会社と連携協定を結ばせていただきました。コスプレイベントを通じ、多世代、多文化の交流人口が増えることによって、港区が面白いまちとして認知され、港区に関わりたい、住みたいという流れが生まれることを期待しています。</p>	同左	総務課 (総合政策・公民地域連携)
5	<p>個別避難計画について、地域には手話通訳や海外の方への通訳が必要な方もおられる。そのような支援を実際にどのような形で想定しているのか詳しく教えてください。</p>	<p>外国人住民の通訳に関しては、今回のまちづくりビジョンで新たに多文化共生についての記載を加えました。</p> <p>手話通訳が必要な方については、これまで同様、要支援者という枠組みで対象になっていますので、個別避難計画とも連動して、避難についても逃げ遅れがないような対応を併せて検討していきたいです。</p>	同左	保健福祉課 協働まちづくり推進課 (安全・安心)
6	<p>福祉施設には他区から来られて日中サービスを使われている方もいる。そういう方々もお住いの地域がプランを作ることになるが、施設の方々(サービス事業者側)は利用者に災害が起きた時にどうなっていくか不安に感じているところもあるので、そのあたりを考慮いただけたらと思う。地域と行政と介護事業者やサービス事業者が力を合わせてやっていけたらと思うので、丁寧な説明と協力依頼をお願いしたい。</p> <p>また、教育支援資金を借りに来られる方には、中学で不登校であった生徒が高校に行かれる際に借りに来られるという方がいる。学校の先生だけで就学支援することは難しいところもある。高校行って頑張りたいって思いがうまくつながるような支援があるとありがたいと思う。</p>	<p>防災に関しては、日頃の見守りやつながりの延長で災害時にも支援できると考えています。</p> <p>個別避難計画についても、日頃の見守りやつながりが強化されるような形で進めていけたらと思います。</p> <p>今後は福祉事業者と地域とがつながるような場もつくっていききたいと思っています。</p> <p>高校進学や中退の課題ですが、コネクションおおさかという大阪市の事業があり、中学校のときから不登校がみえられた子どもに寄り添ってステップアップしていくようなサービスも行っていきます。まずはここにというところを中学校にも伝えていますが、私たちも広報しながら支援していきたいと思っています。</p>	同左	保健福祉課 協働まちづくり推進課 (安全・安心) (教育・人権啓発)
7	<p>包括連携において、住民主体という形のエリア活性化プランの意見を入れていただければと思う。</p> <p>丁寧に地元住民の意見調整ができれば今後より発展していくのではないかとと思う。</p>	<p>コロナも収まってきており、いろんな年齢の方、外国人の方も含めて座談会など意見交換が多くできたらいいなと思っていますので、ご意見をしっかり受け止めて進めたいと思います。</p>	同左	総務課 (総合政策・公民地域連携)